



第一生命ホールで行われたピティナ・ピアノフェスティバル vol.59「ピアニストのための身体革命」。御木本メソッドの全貌を紹介する講座はこれが初めてとあって、全国からピアノ指導者が集まった。

*O u r M u s i c S u m m e r*

2004 5 月 ~ 2004 7 月

*Replay*

- ピティナ・ピアノフェスティバルVol.59  
「ピアニストのための身体革命」
- ピティナ・ピアノ指導セミナー Vol.23  
中級編
- 第39回通常総会
- 第28回ピティナ・ピアノコンペティション
- ピティナっ子の活躍(カントゥ市国際コンクール/仙台国際コンクール/エリーザベト王妃国際ピアノコンクール(優勝者との共演))



今年も暑い夏がやってきた!第28回ピティナ・ピアノコンペティション地区予選の様子。



# 『ピアニストのための身体革命』で御木本メソッド、全貌あらわす

5月4日(火)・5日(水): 第一生命ホール(東京・晴海)

ゴールデンウィーク最後の2日間、東京・晴海の第一生命ホールは、ピアノ指導者の熱気に包まれた。これまで多くのピアニスト、ピアノ学習者の指や腕の強化を手助けしてきた御木本メソッドが、ついに本人出演の公演という形で実現した。ピティナ・ピアノフェスティバル Vol.59を数える今回、メソッドの真髄を見ようと、全国のピアノ指導者で会場は連日満席となった。講義は5回に分けられ、基本的な筋肉や神経の説明から、御木本

先生考案の器具を使っでの実演、モデルのみならずご本人の演奏まであり、御木本メソッドの全容が明らかになった。

会場ロビーでトレーニングボードを販売。飛ぶように売れた。



様々なトレーニング器具を使っでの講義。バランスボールは、上腕を落下させ反動で腕を弾ませる動作を行うが、これは豊かな音量を得る効果がある。



今回の企画者である播本三恵子フェスティバル  
委員長(左)。



前方スクリーンで、  
手の形を分かりやすく説明。



ご本人考案のトレーニングボードで、プレゼンテーションする御木本  
先生。数々のピアニストが利用している器具が、意外にも公演は今  
回が初めて。



スーパーボールは、指の交互運動のス  
ピードを速くするため。手はピアノを弾  
く形にして、指の間にボールをはさみ、  
指の付け根を上下に動かす運動を。  
アシスタント:恩田明香先生。



アレクサンダーテクニックの説明をする新海みどり先生。身体  
全体で音を奏でるために、筋肉や神経系統の知識は必須。  
写真は広背筋を指し示している。



最後には御木本先生の実演も。